

情シス責任者が語る！

**日本企業におけるBox運用の  
あるあるな悩みとその自動化とは**



## Boxの利用が進むに連れて課題になる「維持運用の工数」

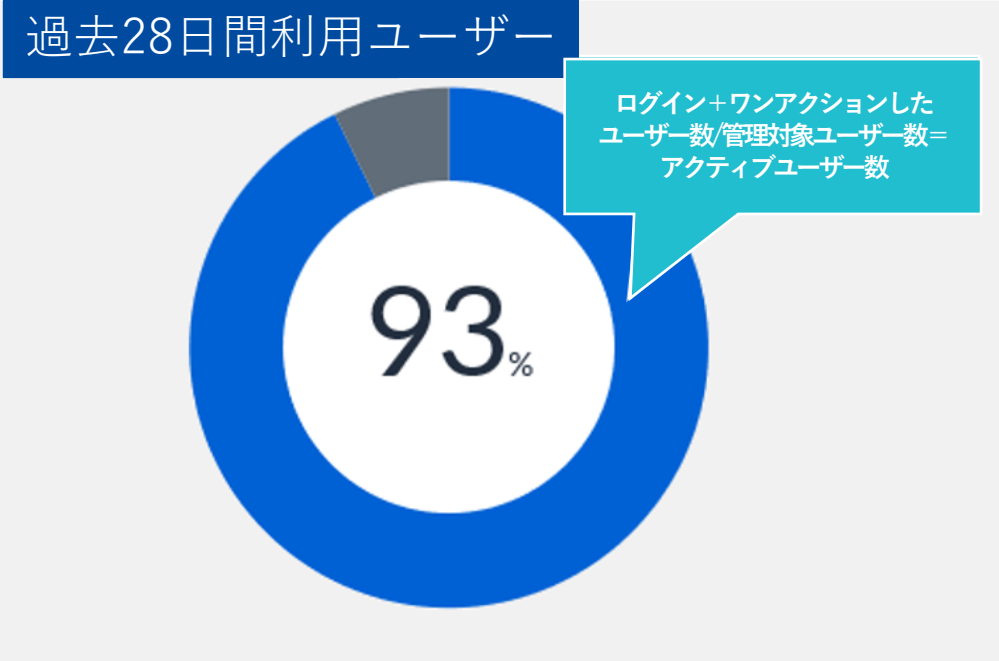
Box導入中のセゾンテクノロジーが工数削減に成功した事例を紹介します。

- 社員の入退社に伴う人事マスター連携
  - アクティブディレクトリとの連携
  - 自動通知連携
- など

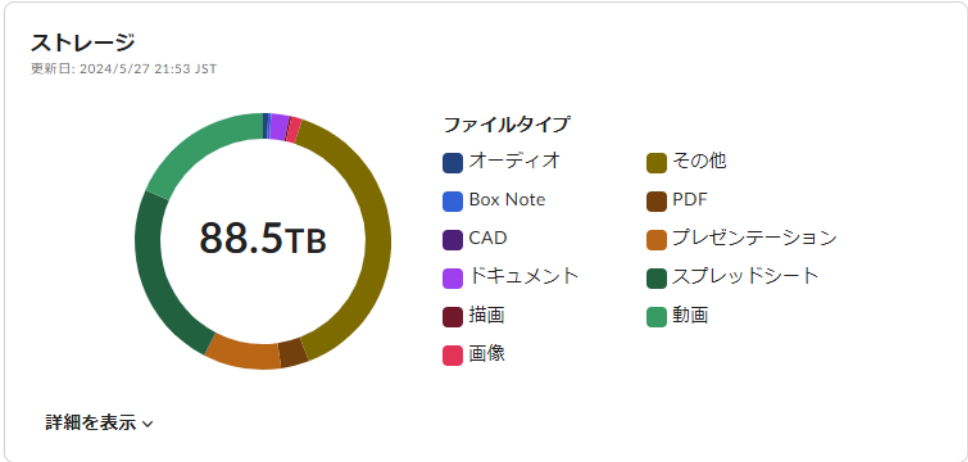
- ✓ 当社のBox利用状況とフォルダ構成
- ✓ Box利用の悩みと解決策
- ✓ 当社活用事例
- ✓ まとめ

# Box利用状況と推移

2019年 導入プロジェクト発足・先行導入  
 2020年 ファイルサーバーからの移行・本格利用開始  
 (ユーザー：1,200名、ストレージ：17TB)  
 コラボレーションツールとして引き続き活用



単なるログインだけでなく、プレビュー、アップロード、ダウンロード等を実施したユーザー率



# Boxフォルダ構成

## 標準的なフォルダ構成を採用し運用

✓フォルダ管理方針：**クローズ構成**を採用

✓フォルダの種類：**3種類のフォルダ**を作成し、使い分け

導入成功の鍵！知っておきたいフォルダ構成の基本 9

### フォルダ全体の管理方針

Boxのフォルダ構成は、オープン構成とクローズ構成の2種類

#### オープン構成

各ユーザーがそれぞれ第1階層（ルート）にフォルダを作成し、所有する

メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理者の負荷が低い</li> <li>業務に合わせてユーザーが自由にフォルダを作成できるため、利用を促進できる</li> </ul>
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンテンツの散乱、フォルダの重複が増える可能性がある</li> <li>フォルダレベルのセキュリティ設定や管理が困難となる</li> </ul>

#### クローズ構成

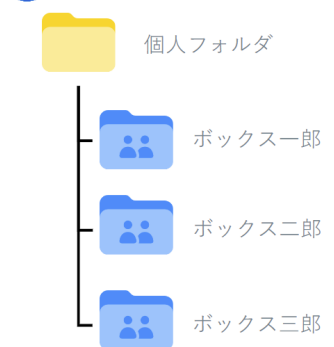
管理者のみが第1階層（ルート）にフォルダを作成でき、全てのフォルダを所有する

メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンテンツの散乱、フォルダの重複を防げる</li> <li>フォルダレベルのセキュリティ設定や管理ができる</li> <li>ユーザーが所有するコンテンツがなくなるため、組織変更や人事異動に伴う作業の実施がしやすい</li> </ul>
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理者の負荷が高い</li> <li>フォルダ作成に制約があるため、ユーザーが使いづらく感じる可能性がある</li> <li>特定のユーザーが大量のコンテンツを所有することになる</li> </ul>

導入成功の鍵！知っておきたいフォルダ構成の基本 27

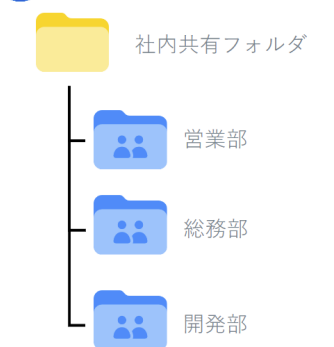
### 一般的なフォルダの種類

**1**



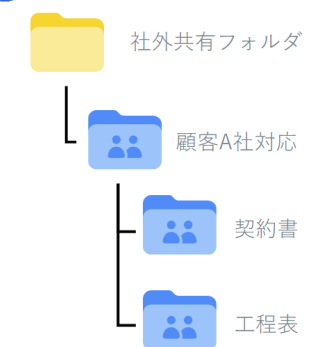
個人フォルダ

**2**



社内共有フォルダ

**3**



社外共有フォルダ

一般的には、**3種類**のフォルダを作成するケースが多い

導入成功の鍵！知っておきたいフォルダ構成の基本[管理者向けセミナーアーカイブ] より

## 多くの社員に権限を付与する一方、制限も設けている

### 1. 共有リンクへのアクセス：フォルダ内のユーザーに限定

フォルダ/ファイルへの招待することで**アクセスログ**が確認可能

### 2. 外部共有：社員であれば招待可能とする運用

招待した外部ユーザーに**90日の期限**を設定（社員自身が延長操作）

導入成功の鍵！知っておきたいフォルダ構成の基本 15

#### 社外共有の方針を決める

フォルダ構成を決める大きな分岐点の一つ

どうやって共有するのか

- 外部コラボレータの招待
- 社外からもアクセスできる共有リンクの送信

誰が招待するのか？

- フォルダ所有者/共同所有者のみに制限する
- 編集者も招待できる

どのフォルダに招待/共有するのか

- 社外共有フォルダを設ける
- 部署フォルダの第X階層で

## その他 Box利用 × 運用状況

### ユーザー・グループ管理を自動化し活用



#### ユーザー管理

入退社情報をもとに、Boxアカウントを自動作成/削除



#### グループ管理

部署と紐づいたBoxグループを作成  
異動情報をもとに、Boxグループへ自動追加/削除



#### 各フォルダの権限管理

IT部門にて、Boxグループを用いて権限付与  
共有追加は利用部門の社員自らが実施



#### 外部とのファイル共有

ファイル共有時のBox利用をルール化

- ① 利用者を限定したフォルダへのニーズ
- ② 外部コラボレーションの意図しない削除
- ③ 脱PPAP + 自動化加速！

## 課題1：利用者を限定したフォルダへのニーズ



Box導入によりオープンコラボレーションが進む一方  
従来からのニーズも引き続き存在

- ▶ 自部門内のみでの共有
- ▶ 社員間のみでの共有
- ▶ マネージャー間のみでの共有

## 課題1：利用者を限定したフォルダへのニーズ

### Boxとデータ連携の力で解決！

#### ● Box：グループ機能の活用

- ✓ 複数ユーザーの追加・アクセス権限の割り当てが可能
- ✓ グループのネストは不可

#### ● データ連携：入退社・異動情報の反映

- ✓ 入退社・異動情報を検知し、グループに反映
- ✓ 部門／役職／社員のみなど用途に応じたグループを登録

## 課題1：利用者を限定したフォルダへのニーズ



データ連携プラットフォーム  
**HULFT Square** で実現した自動化

- ①入退社・異動情報を取得
- ②所属部署とマッピングした複数のBoxグループへメンバーを追加
- ③Boxのフォルダへの権限付与は、作成したグループを活用

## 課題2：外部コラボレーションの意図しない削除



用途の終了した外部コラボレーションは削除したいが意図せず削除されると困る

- ▶ 追加をしたものの、終了後の削除は忘れがち
- ▶ 共有期限があるのに、延長操作を忘れがち
- ▶ 削除されると、誰と共有していたか忘れがち

## 課題2：外部コラボレーションの意図しない削除

### Boxとデータ連携の力で解決！

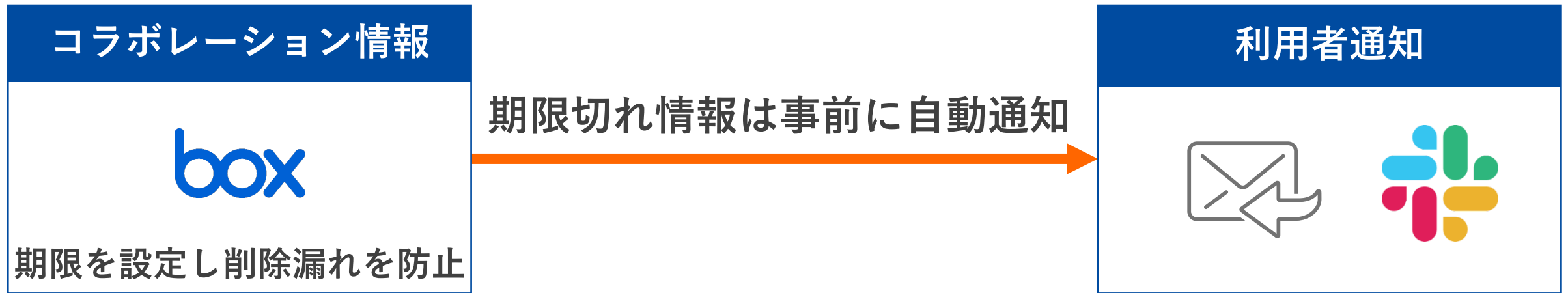
#### ● Box：期限の設定 + 期限切れ通知機能の活用

- ✓ 外部コラボレーション期限を設定（テナント単位）
- ✓ コラボレーション期限切れ前の通知が可能
- ✓ グループへの通知は不可／直接コラボレーションのみ

#### ● データ連携：対象フォルダ情報を取得・通知

- ✓ コラボレーション期限の近い外部ユーザー情報を取得・通知

## 課題2：外部コラボレーションの意図しない削除



データ連携プラットフォーム  
HULFT Square で実現した自動化

- ① 対象フォルダのコラボレーション情報を取得
- ② 期限切れが近い対象者情報を取得、ファイルとしてBoxに格納
- ③ 対象者情報をメールやチャットで利用者に通知

## 課題3：脱PPAP+自動化加速！



メール添付による注文書受領を廃止したい

- ▶ セキュリティ上、メール添付を廃止したい
- ▶ 人手によるZIPファイルの解凍処理が負荷
- ▶ 受領情報をタイムリーに通知したい

## 課題3：脱PPAP+自動化加速！

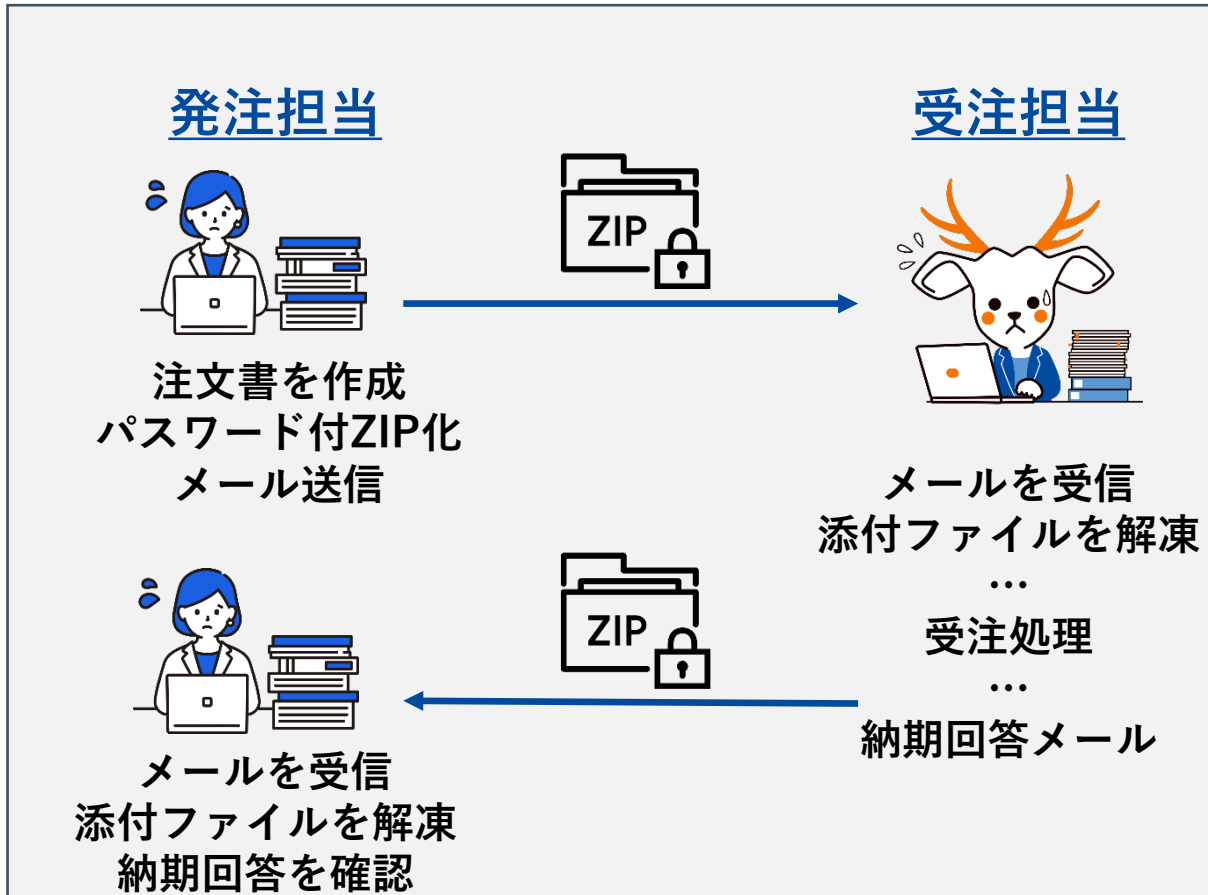
### Boxとデータ連携の力で解決！

- **Box：メール添付を廃止してBox格納！**
  - ✓ 注文書をBox格納する運用に変更
- **データ連携：チェック&検知&通知！**
  - ✓ 格納チェックを検知し必要な処理を自動化
  - ✓ 処理結果をメール&チャットで通知

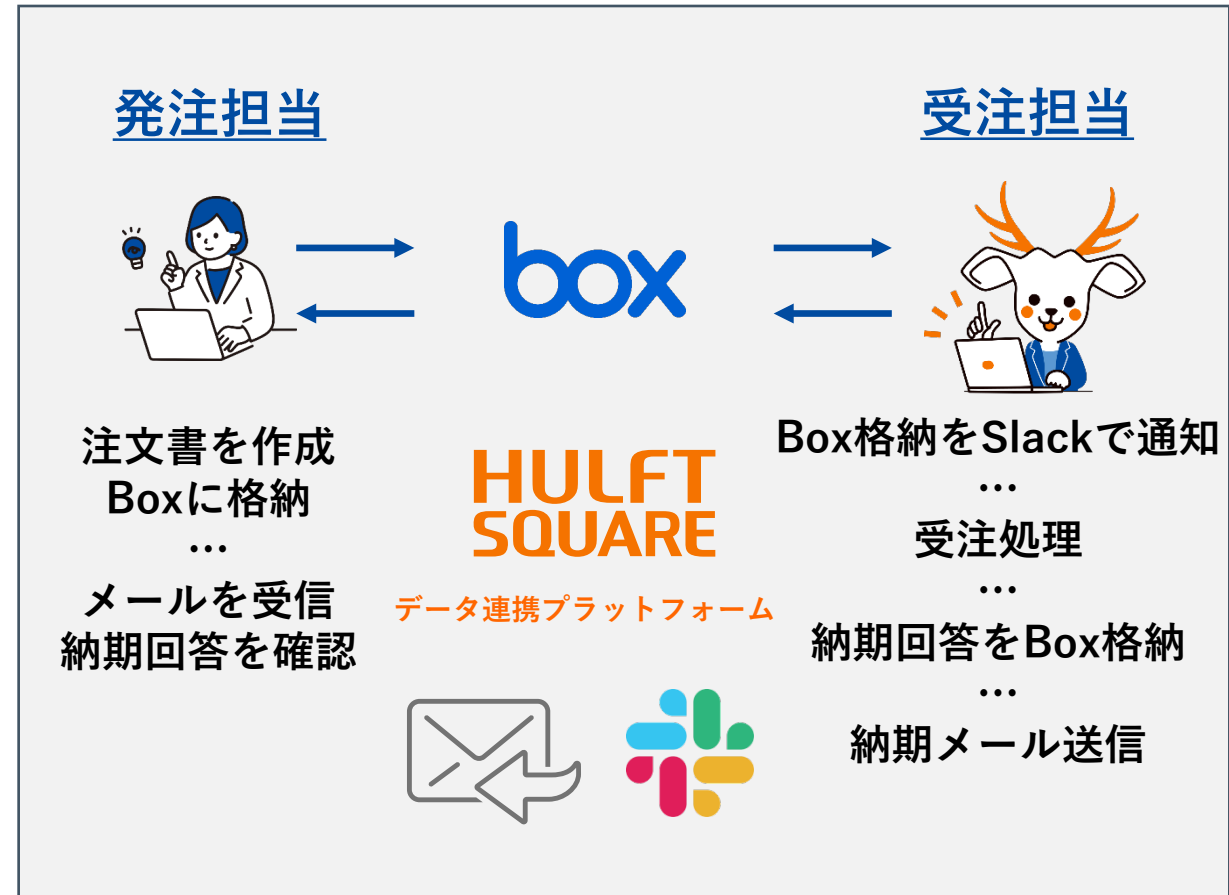
# 課題3：脱PPAP+自動化加速！

Boxを活用した脱PPAPに加え、処理や通知方法の見直しを実施

## これまでの業務の流れ



## 現在の業務の流れ



## その他 Box × データ連携の社内活用事例



### HRテック × Box

SaaSより内定者情報をBoxに連携、  
HR部門の確認・処理後に社内アカウントとして自動登録



### インボイス制度対応 × Box

取引先の登録番号を国税庁の専用サイトよりAPIで取得  
社内登録情報と突合し、結果を購買部門にBoxで連携



### 電子帳票保存法対応 × Box

受領した請求書をBox経由で対応SaaSへ連携  
処理結果/バックアップもBoxへ保存



### 業務自動化 × Box

処理の入出力先としての利用はもちろん  
人手を介する処理もBoxを経由することで前後の業務を自動化

運用はシンプルに。

データ連携基盤を活用することで、より便利に使いやすく！

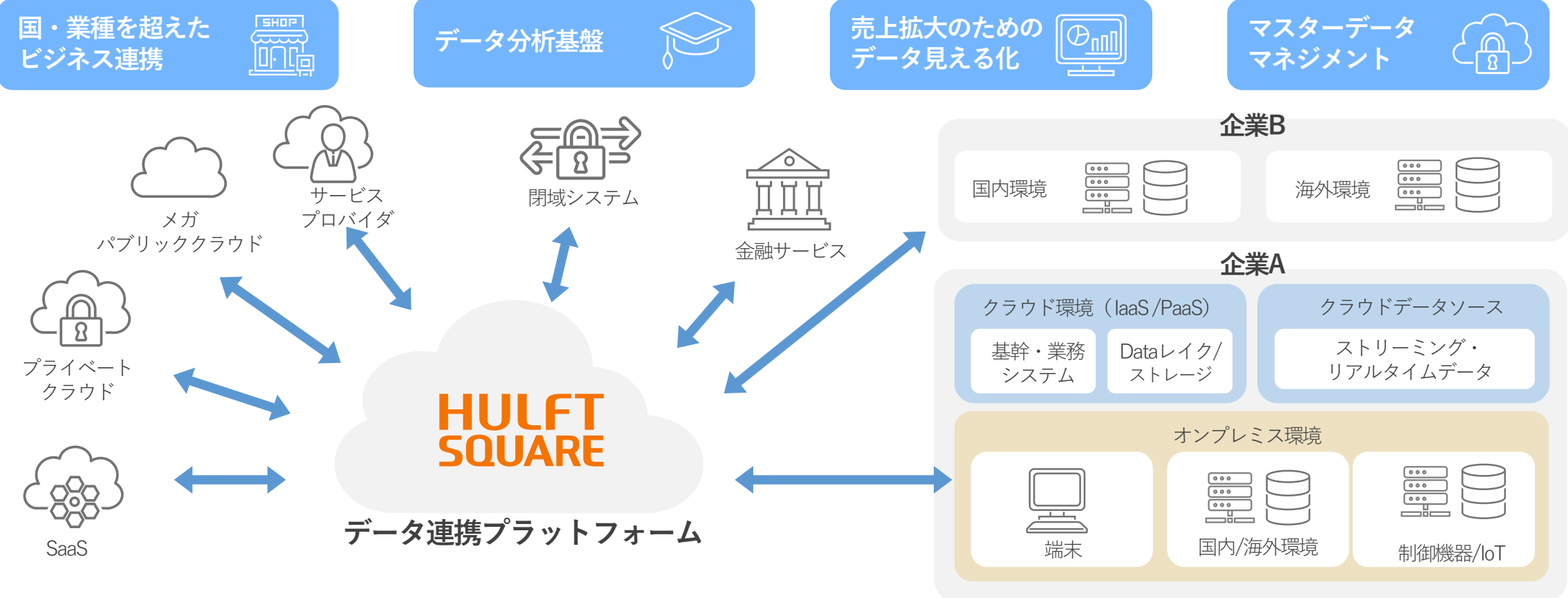


# 日本発iPaaS（クラウド型データ連携プラットフォーム） HULFT Square

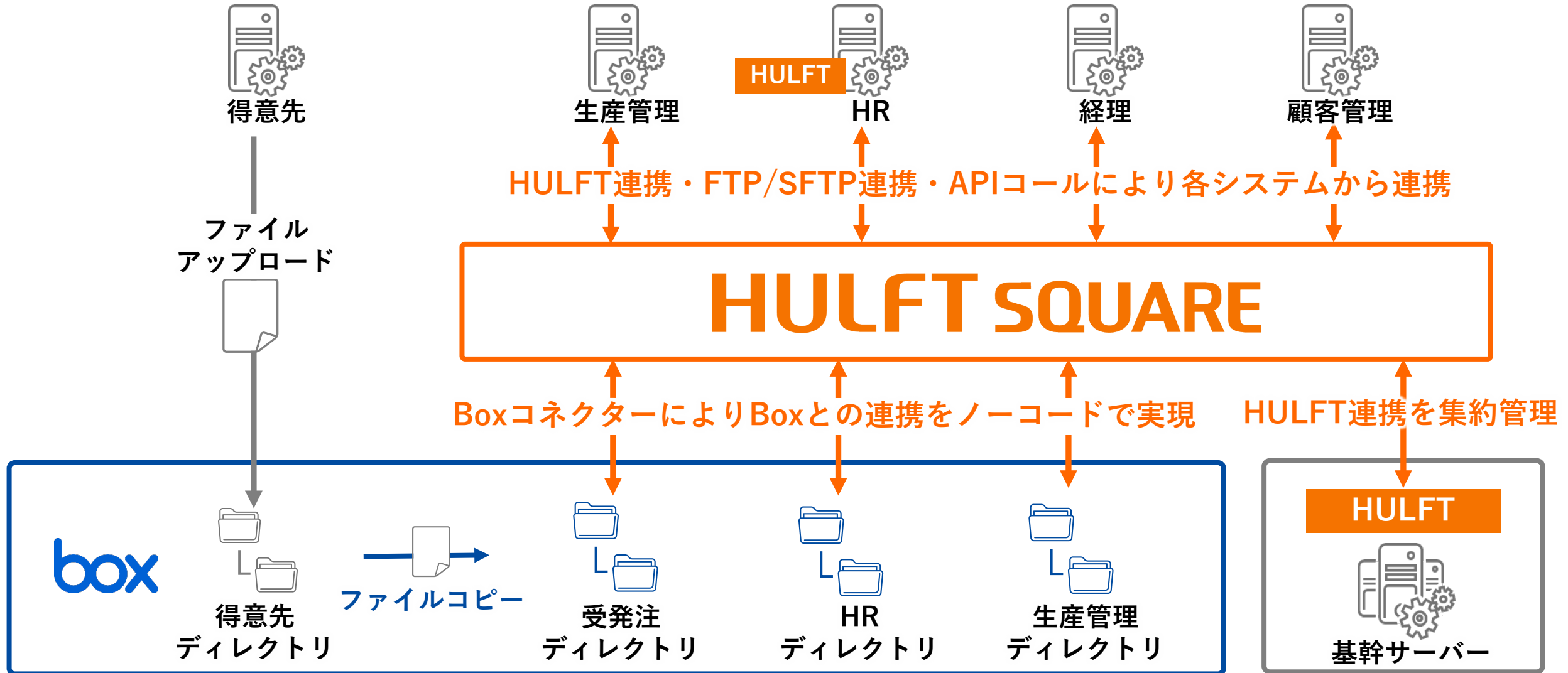
# 日本発iPaaS HULFT Square (ハルトスクエア) とは

## データを“安全・安心”に連携するサービスプラットフォーム

**HULFT Square = ファイル転送のHULFT × データ連携のDataSpider × マネージドサービス**  
 オンプレミスやマルチクラウドに分散して管理されるさまざまなデータの連携を一元化  
 必要になったときにセルフサービスでリソースをすぐに増やせるため、すばやいビジネス判断を可能に



# 複数システムをまたぐBox連携イメージ



# HULFT Square

はじめての方向け

## 製品紹介セミナー

オンライン・毎月開催

機能や事例、デモンストレーションを交えた製品紹介ほか料金体系や各種サービスについて網羅的にご紹介します。

HULFT はじめてセミナー



# 各種コンテンツ

## HULFTシリーズ - HULFT Square

OPEN

HULFT公式サイトです。最新の導入事例や、オンラインマニュアルなど、製品に関する様々な情報を提供しています。



<https://www.saison-technology.com/service/product/lineup/hulft-square/>

## お見積り・ご相談

OPEN

HULFT Squareに関するお見積り、各種ご相談は、担当営業または、こちらのフォームよりお願いいたします。

<https://www.saison-technology.com/contact/hulft/hulft-square/>



## 製品事例

OPEN

HULFT、DataSpider Servistaをはじめとする Data Management Solution 製品群の導入事例を紹介しています。



<https://www.saison-technology.com/casestudy/>

## DMS Cube (ユーザーコミュニティ)

OPEN

データマネジメントに興味のある人が集い、交流できる場所として誕生したコミュニティサイトです。HULFT Squareを活用したデータ連携の記事や、HULFT製品群 (DataSpider含む) の知っていると便利なTipsや技術者認定資格対策講座を公開しています。





< 免責条項 >

本資料の内容は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されているものであり、今後予告なしに変更されることがあります。よって本資料使用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願いいたします。

なお、本資料に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。